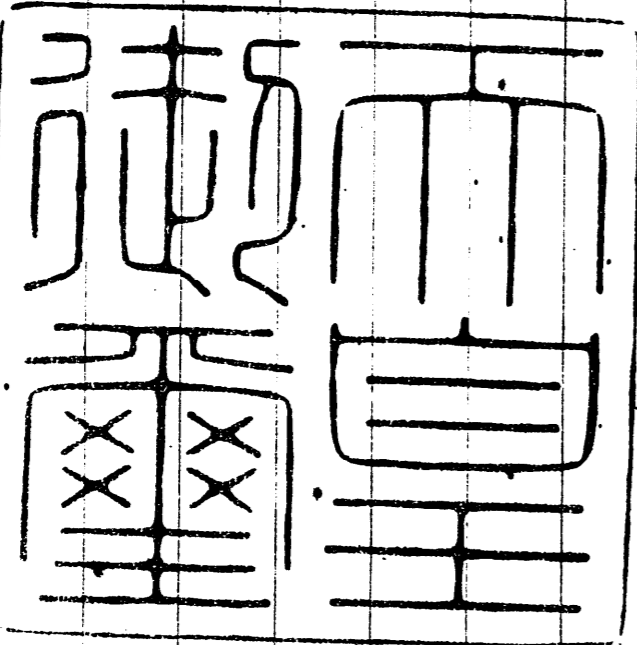


勅令第四百九十九號

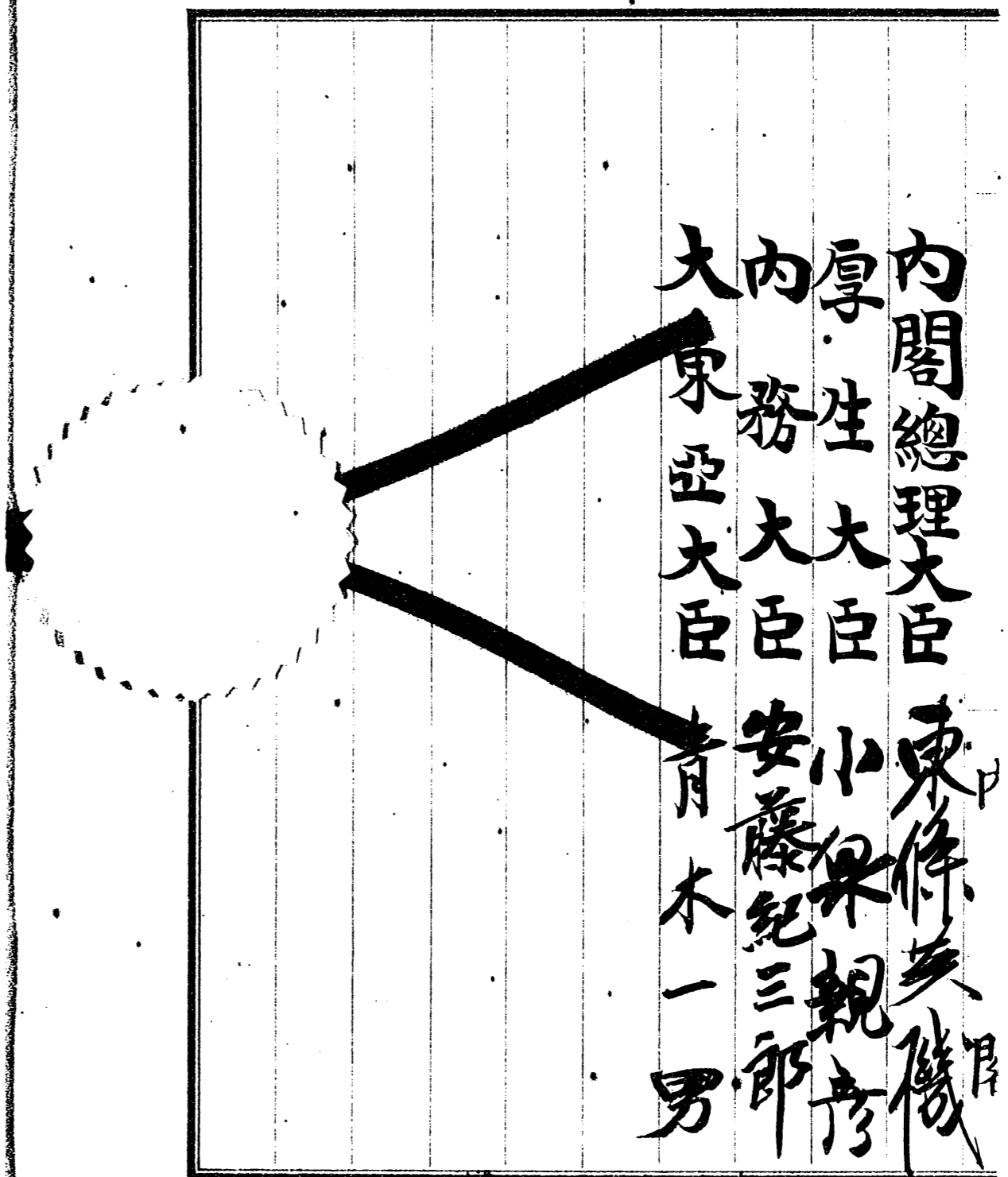
朕國民服制式特例ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十八年六月十五日

内閣總理大臣 東條英機
 厚生大臣 小泉親彦
 内務大臣 安藤紀三郎
 大東亞大臣 青木一男



勅令第四百九十九號

國民服制式特例

第一條 當分ノ内國民服ノ上衣及袴ノ品質ハ適宜トス但シ禮裝ノ
 場合ニ於テハ茶褐色、黒色、濃紺色又ハ白色（白濁ハ暑熱ノ時
 期又ハ地方ニ於ケル場合ニ限ル）トス禮裝ノ場合ニ於ケル外套
 ニ付亦同ジ
 第二條 當分ノ内黒革長靴ハ雨雪又ハ乗馬ノ下キ以外ノ下キト雖
 モ禮裝ノ場合ニ於テ之ヲ用フルコトヲ得
 第三條 當分ノ内國民服ニ脚絆ヲ用フルコトヲ得
 脚絆ノ材質ハ適宜トス但シ禮裝ノ場合ニ於テハ茶褐色、黒色又
 ハ濃紺色トス

附
則

第四條 當分ノ内國民服ノ袴ハ長靴又ハ脚絆ヲ用フル場合ニ限り
別表制式ノ短袴ト爲スコトヲ得

第五條 國民服令第六條ノ規定ノ適用ニ付テハ本令ニ依ル服ハ之
ヲ國民服令ノ制式ニ依ルモノト看做ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

短袴制式表

地 質	第一條ノ規定ニ依ル
製 式	長サ膝上ニ止ム 裾口ヲ裂キ鈕各四箇ヲ附ス 左右ニ物入各一箇ヲ附ス 形状圖ノ如シ

